



## 今年度の進路決定状況

～ 卒業生108名の進路が決まりました ～

3月1日に卒業した3年生の進路状況です。現在、進路未決定者は1名で、その卒業生も大学進学を目指し努力を重ねています。卒業生一人ひとりが夢に向かって歩み始めました。卒業生の進路は、就職から大学進学までと様々です。南三陸町へ残る者もいれば、県外へ出ていく者もいます。ただ、いずれの卒業生も地元を愛し、他人のことを考え動くことができる人に育ちました。今後の活躍に期待します。

	就職 (民間就職・公務員)	進学 (大学・専門学校)	合計 (名)
気仙沼市・南三陸町内	19名 南三陸農業協同組合(事務) ハイムメアーズ(介護) アルファードダイヤモンド工業(製造) 及新(水産加工) 他	2名 気仙沼医師会附属准看護学校	21
宮城県内	32名 宮城県警察 アイリスオーヤマ(事務) トヨタ東北(自動車製造) ウジエスーパー(総合職) 社会福祉法人 恵泉会(事務) 秋保グランドホテル(フロント) 七十七銀行(銀行業務) 仙台銀行(銀行員) 他	45名 東北学院大学(法)(教養) 東北福祉大学(リハビリ)(教育) 仙台大学(体育) 仙台青葉学院短期大学(こども) 石巻赤十字看護専門学校(看護) 県立仙台高等技術専門学校(自動車) 仙台医療福祉専門学校(介護福祉) 宮城調理製菓専門学校 他	77
宮城県外	4名 自衛隊 富士鉱油(販売) 他	6名 日本大学(工) 日本女子体育大学(体育) 他	10
合計(名)	55 (民間就職53 公務員2)	53 (大学17 短大6 専門30)	108

(平成28年3月15日現在)

## 互いに支え合える社会を目指して

### ～ 本校でのボランティア活動 ～

本校では、ボランティア委員会や生徒会執行部が中心となって、全校生徒へボランティア活動の呼びかけを行っています。その声に応じて多くの生徒が様々な活動を行ってくれました。また、NPOなどを通じて、個人的にボランティア活動を行っている生徒もいます。今まで多くの支援をいただいて生かされているという感謝の気持ちは、着実に形となって現れてきています。以下に、本年度で実施した活動を載せます。

全ての人が幸せに暮らせるように、互いに支え合える社会を目指して、今後も活動していきます。

- 4月 **緑の羽根募金** 【募金総額：6,304円】  
※募金は「県民参加の森づくり」「身近な緑環境保全」に使われる。震災復興のため、沿岸部海岸防災林などの植林活動にも使われる。
  - 4,5月 **ネパール地震支援募金** 【募金総額：24,045円】  
※平成27年4月25日、ネパールで大きな地震がおきました。その支援のためにすぐに募金活動を始めました。中学校とも連携して募金活動をしました。
  - 10月 **あらと祭ボランティア** 【有志】  
※「特別養護老人ホームいこいの海・あらと」で行われた「あらと祭」の手伝い。
  - 1月 **書き損じはがきの回収**  
※視覚障がいがある方への支援。
  - 2,3月 **台湾地震支援募金** 【募金総額：68,782円】  
※平成28年2月6日の台湾で起きた地震への募金活動。ボランティア委員は各クラスで、生徒会執行部は朝の登校時間に昇降口で募金活動を行い、多くの善意が集まりました。
- 通年 **ペットボトルキャップ回収**  
通年 **南三陸モアイ化計画**  
※志高通信(第26号)をご覧ください。



3月2日(水)、生徒会執行部が代表して、台湾地震支援募金を南三陸町長へ渡してきました。東日本大震災の際、台湾からは多くの支援をいただきました。少しでも恩返しをしたいと、生徒がすぐに募金活動を行いました。

### 支援の恩返し

台湾地震 生徒会で募金 町に 志津川高

台湾南部で発生した大地震の被災地を応援しようと、志津川高校の生徒たちが2日、募金活動で集まった募金を町を通じて寄付した。生徒たちは「震災で受けた支援に恩返ししたい」と、今後も支援を継続したい考え

台湾南部で発生した大地震の被災地を応援しようと、志津川高校の生徒たちが2日、募金活動で集まった募金を町を通じて寄付した。生徒たちは「震災で受けた支援に恩返ししたい」と、今後も支援を継続したい考え

台湾地震支援募金の記事は三陸新報やTBCテレビ・ラジオ等でも紹介されました。今年度、志津川高校生が行った活動は、たびたびマスメディアに取り上げられ注目を集めました。

主な行事予定	16日(水) 後期選抜・合格発表【休業日】
3月9日(水) 後期選抜	入学準備物配布(～17(木))
【3/9～10 登校禁止】	24日(木) 終業式
11日(金) みやぎ鎮魂の日【休業日】	25日(金) 合格者予備登校
	28日(月) 離任式

# 栄光の軌跡

今年度の生徒の活躍をまとめました。結果の善し悪しは出てしまいますが、一生懸命に部活動等を行い多くのものを得るなど人間的に成長しました。今後も文武両道でがんばっていきます。

## 運動部 (本吉支部高校総体)

受賞	部名	区分等	氏名(学年)	備考
第1位	バスケットボール	女子		
	バドミントン	女子ダブルス	山内桃花(3年) 佐々木優衣(3年)	
	剣道	女子個人	岩石桂惟(1年)	
第2位	バドミントン	女子団体		
	バドミントン	男子団体		
	バドミントン	男子ダブルス	山内幸輝(3年) 三浦 柊(3年)	
	卓球	女子団体		
第3位	サッカー	男子		
	バスケットボール	男子		
	卓球	女子ダブルス	菅原優美恵(3年) 千葉佑花(3年)	
	バドミントン	男子シングルス	三浦 柊(3年)	
第5位	弓道	女子個人	阿部幸加(3年)	
ベスト8	剣道	男子個人	三浦 壮(3年)	

## (県高校総体)

受賞	部名	区分等	氏名(学年)	備考
第5位	陸上競技	男子ハンマー投	佐々木一磨(3年)	東北大会出場

## (本吉支部高校新人大会)

受賞	部名	区分等	氏名(学年)	備考
第1位	バスケットボール	女子		
第2位	卓球	男子シングルス	高橋富士喜(1年)	
第3位	バスケットボール	男子		
	卓球	男子団体		
	卓球	男子ダブルス	高橋富士喜(1年) 高橋昇喜(1年)	
	卓球	女子ダブルス	佐藤 希(2年) 渡辺杏奈(1年)	

## (県新人戦)

受賞	部名	区分等	氏名(学年)	備考
第3位	柔道	男子73kg級	渡邊 諄(1年)	

## (その他)

受賞	部名(競技)・名前	大会名
ベスト16	硬式野球部	全国高校野球選手権大会宮城大会
第1位	硬式野球部	花笠杯高等学校野球交流記念大会
第2位	陸上競技部(男子ハンマー投)・佐々木一磨	県選手権兼国民体育大会予選会
第3位	陸上競技部(男子ハンマー投)・佐々木一磨	県春季選手権兼国民体育大会予選会
第2位	陸上競技部(男子ハンマー投)・佐々木一磨	くりこま高原高等学校陸上競技選手権大会
第6位	陸上競技部(男子棒高跳)・三浦友裕(2年)	くりこま高原高等学校陸上競技選手権大会
第3位	卓球部・一般女子団体	気仙沼大船渡沿線卓球大会

## 文化部

受賞	部名等	区分等	氏名(学年)	備考
佳良賞	商業	第62回全国高等学校珠算電卓競技大会 「読上算競技(珠算)」	高野七海(3年)	
佳良賞	一般	同「読上算競技(珠算)」	久保田芽生(3年)	
第2等	商業・一般	全商協会主催第62回全国高等学校珠算・電卓競技大会宮城県予選会「団体競技(珠算)」		
第2等	商業	同「個人総合競技(珠算)」	高野七海(3年)	全国大会出場
第2等	一般	同「読上算競技(珠算)」	久保田芽生(3年)	全国大会出場
銀賞	音楽	第48回アンサンブルコンテスト宮城県大会 予選本吉地区大会「打楽器三重奏」		
銅賞	音楽	同「管楽八重奏」		
銅賞	音楽	第58回全日本吹奏楽コンクール宮城県予選 本吉登米地区大会		
優秀賞	自然科学	第68回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 生物部門		
優秀賞	美術	第53回けいせい展(気仙沼・本吉地区高等学校美術部合同作品展) 絵画・立体部門	高橋遥香(3年)	
ポスター賞	美術	同 ポスター部門	伊東綾香(1年)	
最優秀賞	郷土芸能愛好会	宮城県高等学校郷土芸能大会		平成28年度 全国総文祭に 出場

## 個人表彰

受賞	部名等	氏名(学年)
優秀選手賞	硬式野球	佐藤梨弘(3年)
功劳賞	サッカー	千葉詠太(3年)
優秀選手賞	バレーボール	佐藤竜司(3年) 阿部美慧(3年)
支部表彰選手	ソフトテニス	沼倉千尋(3年)
功劳賞	柔道	阿部一樹(3年)
陸上・十傑賞 第2位(男子ハンマー投)	陸上競技	佐々木一磨(3年)
全国商業高等学校長協会 3種目1級合格	情報ビジネス科	山内桃花(3年)
全国商業高等学校長協会 卒業生成績優秀者	情報ビジネス科	山内幸輝(3年)
専門高等学校等御下賜金記念中央会長賞 優良卒業生選奨賞	情報ビジネス科	山内桃花(3年)
宮城県産業教育振興協会会長賞 優良卒業生選奨賞	情報ビジネス科	佐藤成美(3年)
第26回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞 佳作特別賞	国語科	佐藤柚里(3年)